

## 応急手当普及員として必要なスキルを習得

8月18日～20日の3日間、行田市消防署で市内小・中学校の教職員を対象とした応急手当普及員講習が行われました。昨年続いて2回目となるこの講習には、養護教諭や保健体育科教諭など29人が参加。受講者は、救急救命士より応急手当の指導方法について学びました。最終日は、普及員として教職員や児童生徒に指導するための実技試験を実施。学校の先生ならではの熱のこもった指導を行っていました。



## 地産地消を応援します

8月29日、V I V A ぎょうだ調理室で「行田市地産地消推進協議会・第1回定例会」が行われました。現在、同協議会および市では、古代をテーマにしたレシピ開発に取り組んでいます。この会議で、初めて「青大豆の古代米ポタ汁」のレシピが提案され、さきたま古墳・古代米カレーなどとともに試食した委員からは「甘くて濃厚でとてもおいしい」と高い評価を受けました。また、会議では「行田産の農産物の良さを知ってもらうためにはどのようにしたらよいか」といったことについて、活発に意見を交わしていました。なお、この試作品は11月23日に開催される「ぎょうだ“夢”まつり」で振る舞われる予定ですので、ぜひお越しください。



## ハワイアン風のムードに酔いしれて

8月31日、「みらい」文化ホールで第2回ハワイアンフェスティバルin行田が開催されました。フラ・タヒチアンダンスの愛好家が日ごろの練習の成果を披露するこのイベントに、市内外から14団体が参加。華やかな衣装を身にまとった出演者は、しなやかな手の動きや軽快なステップなど、全身を使って流れてくる音楽の世界観を表現していました。出演者のダンスに魅了された観客からは手拍子や声援が送られるなど、会場は大盛り上がり。会場を訪れた誰もが、南国の雰囲気を楽しむことができたようです。



## 女性の視点から作成した新たなガイドマップが完成

9月11日、行田市自治会女性部連絡会の皆さんが「行田の魅力再発見 行田花めぐり寄り道Map」の完成を工藤市長に報告するため、市役所を訪れました。このマップは、行田の魅力を女性の視点から見つめ直し、実際に女性部の皆さんが取材活動を通して発行したもの。今回は、北河原・須加・南河原・荒木地区の見どころ・よりどころスポットの他、地図上に各地区で楽しむことができる花や植物が紹介されています。会長の相原さんは、「この冊子が行田の魅力を再発見するきっかけになればいいですね」と笑顔で話していました。



## 輝く行田の選手たち

9月11日、全国中学生空手道選手権大会団体の部「形」で2回戦進出を果たした山口雅大さん(長野中学校3年)・小林優真さん(同中学校2年)・似鳥永遠さん(同中学校2年)、小学生・中学生全国空手道選手権大会「組手」の部でベスト8進出を果たした秋元怜さん(同中学校1年)、JOCジュニアオリンピック大会スポーツクライミング競技で21位となった小林由奈さん(同中学校2年)が、工藤市長を表敬訪問しました。工藤市長から賞賛の言葉を受けた生徒の皆さんは、「これからも練習を続け、全国大会優勝目指して頑張っていきたい」など、それぞれ意気込みを話していました。



## 「行田らしさ」を生かしたまち並みを

8月23日、市役所で「第2回まちにぎワークショップ」が開催されました。このワークショップは、歴史的建築物が集積する行田市駅周辺エリアをモデル地区に指定し、その地区の「まち並み」や「にぎわい」について、市民の皆さんが中心となって意見交換するものです。当日は、ものづくり大学の学生が進行役を務め、参加者からは「空き家や空き地を積極的に活用して、行田の歴史を生かしたまち並みにした方がいい」など、まちの魅力を高める意見が数多く出されました。ワークショップは、引き続き10月、11月にも開催されますので、まちづくりの提案にぜひご参加ください。



## まちコンが開催されました

9月14日、㈱はせがわ農園でNPO法人行田観光物産会(戸塚昌利代表理事)と行田市共催による「ぎょうだまちコン」が行われ、男性34人、女性29人が参加しました。この催しは、若者でにぎわうまちを目指すとともに、人口減少対策に少しでも貢献するために行われたもの。参加者は、梨狩りやバーベキューをしながらお互いの距離を縮めていました。また、工藤市長も会場に駆け付け、「行田はとても魅力あふれるまち。このイベントでカップルとなり、将来的には結婚をして、ぜひ行田市に住んでほしい」とエールを送っていました。



## 行田ロータリークラブが216冊の児童書を寄贈

8月28日、ベルヴィアイトピアで開催された行田ロータリークラブ第2364回例会において、図書贈呈式が行われました。同クラブは、平成15年度から4,000冊を超える図書の寄贈を行ってきました。今回は216冊の児童書が寄贈され、移動図書館用として活用されます。同クラブの島崎政敏会長から目録を受け取った中村教育長は「皆さんの温かい気持ちを、未来を担う子供たちに活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。